

平成27年5月26日

馬溪橋を存置した治水対策が決定

中津市耶馬溪町の石造アーチ橋である馬溪橋は、平成24年の九州北部豪雨では流下阻害となり沿川の甚大な浸水被害の大きな一要因となりました。

しかし馬溪橋は、国指定の名勝耶馬溪の良好な景観の構成要素であり市の有形文化財であることから、存置したうえでの治水対策を、治水や文化財等の専門家を交えた専門家委員会「山国川治水対策検討委員会」(以下「委員会」)で複数案について議論し、この3月に実現性や社会的影響等の総合的な観点で1つの案(河道拡幅+堤防整備案【別紙参照】)を選定しました。

これを受け、沿川地域の皆様に委員会の報告を行い、委員会選定案で詳細検討を進めることが決定しました。

今後速やかに測量と詳細設計を進め、地権者、関係者の皆様にご理解をいただきながら、事業の早期完成を目指します。

■問い合わせ等

【治水対策関係等】

山国川河川事務所 副所長 篠原昌秀 (Tel.0979-24-0571(代))

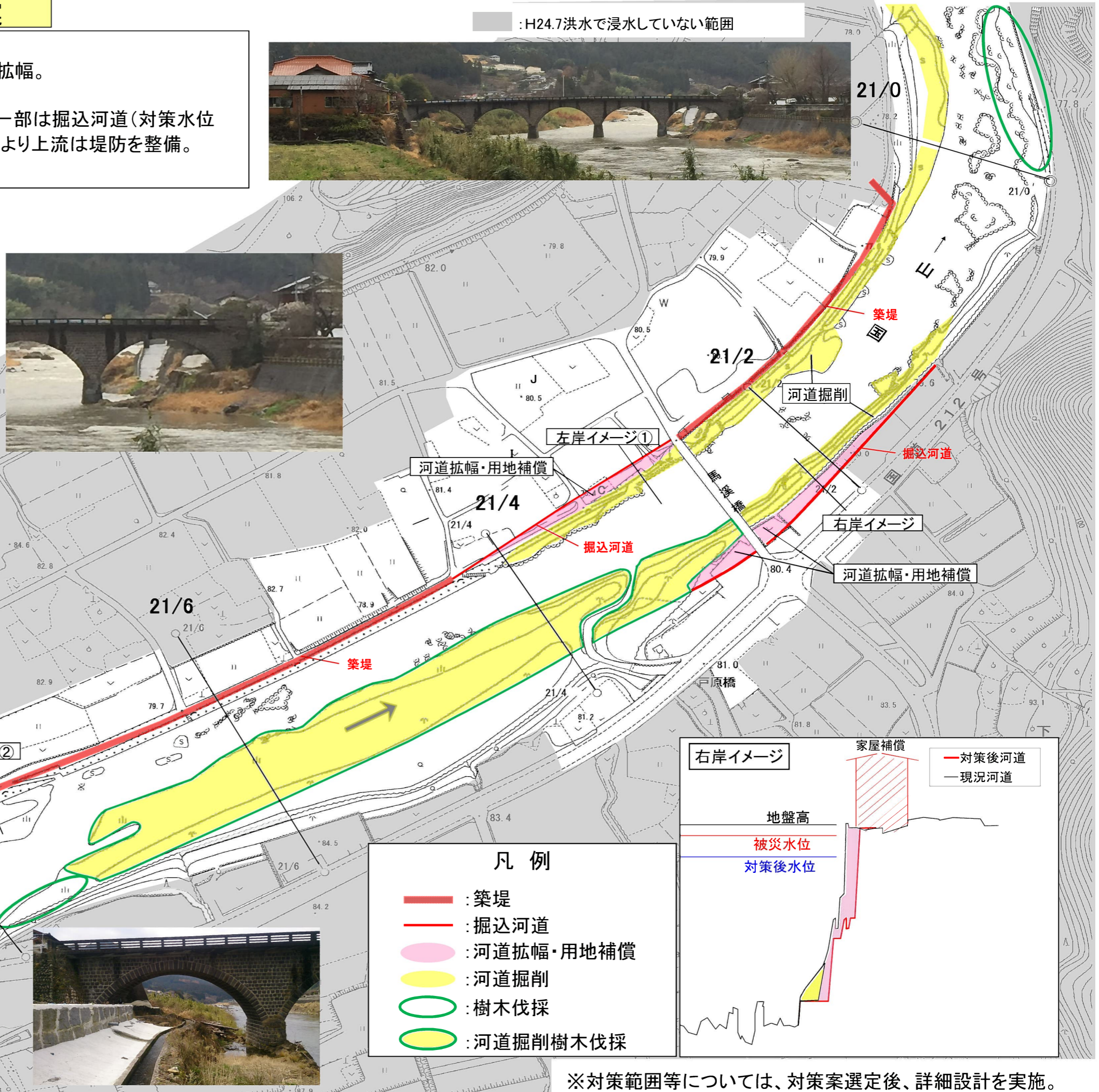
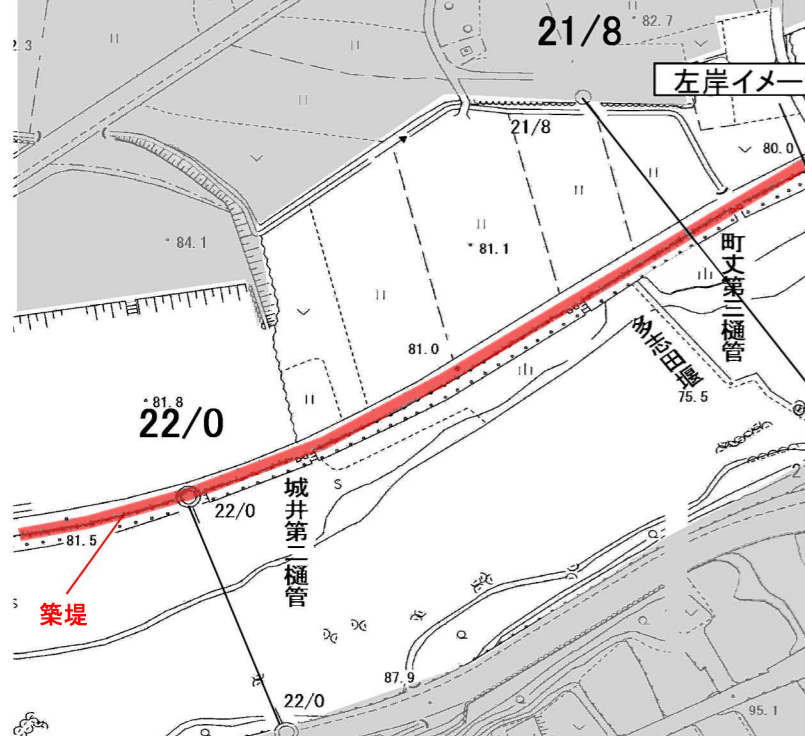
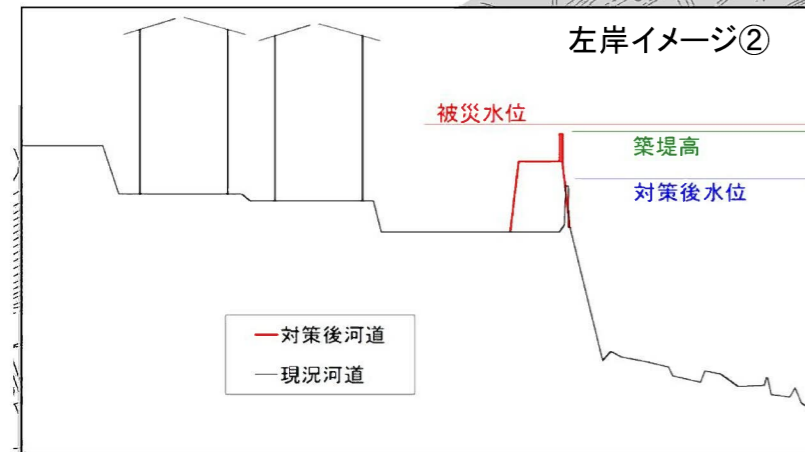
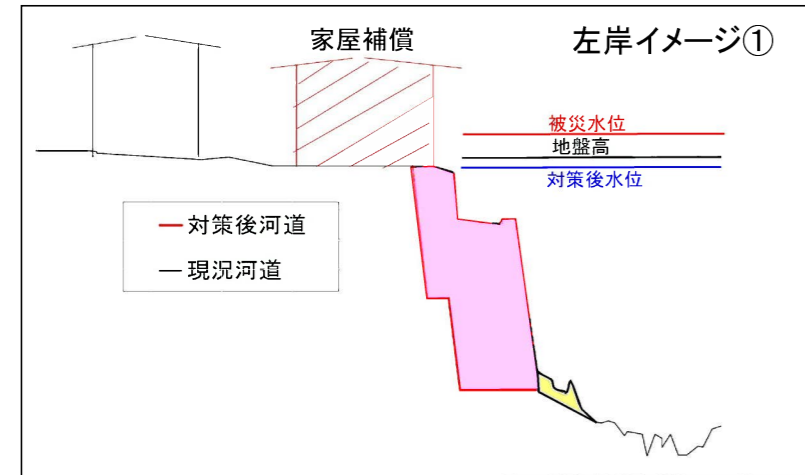
【橋の保存活用等】

中津市役所 文化財課長 平原 潤 (Tel.0979-22-1111(代))

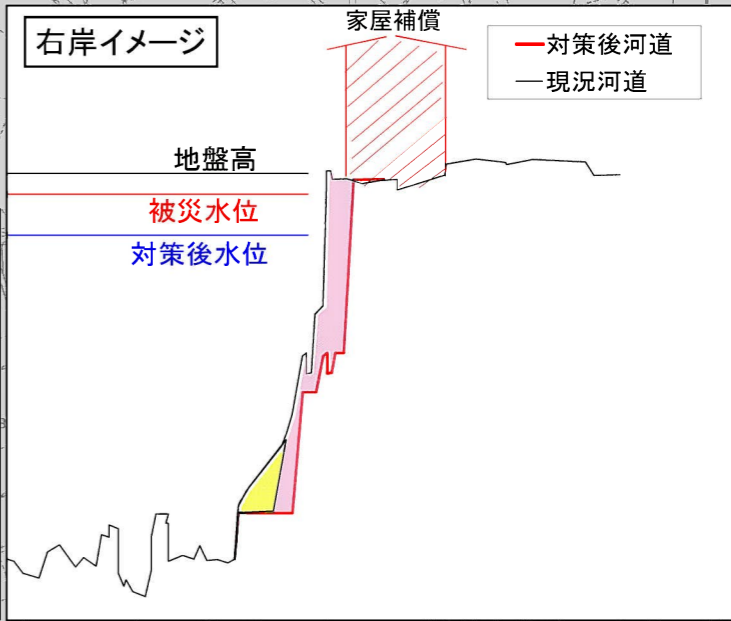
ケース1 河道拡幅+連続堤防案

- ・5径間全ての石橋を存置。
- ・河道内掘削に加え、馬溪橋付近の狭窄部の河道を拡幅。
- ・家屋補償は、8戸程度。
- ・対策後水位を踏まえ、右岸及び馬溪橋左岸上流の一部は掘込河道(対策水位以上の地盤高)、馬溪橋左岸下流及び左岸21k4付近より上流は堤防を整備。
- ・事業費は、約10億円。

：H24.7洪水で浸水していない範囲



- 凡例
- 築堤
 - 掘込河道
 - 河道拡幅・用地補償
 - 河道掘削
 - 樹木伐採
 - 河道掘削樹木伐採



※対策範囲等については、対策案選定後、詳細設計を実施。